



Dreams
Come True!

を 応 援

INTERVIEW

本校に通う大内さんが7月に開催される「2018年スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールカップ・シカゴ Presented by TOYOTA」に日本代表選手として出場します。本校はSON・福島の活動に賛同しSOメイトとして活動を支援しており、今大会の成功と日本代表の活躍を願っています。

アスリートを
支えながら”優勝“を
目指して頑張ります。

行政マネジメント学科2年

大内 翔太さん
(富岡高校出身)

サッカーの強豪校・県立富岡高校を卒業後、市内のフットサルチームに所属。本校では消防士を目指して勉強中。今大会にはパートナー選手として出場。



スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールの世界大会に本校の学生がパートナー選手として出場

知的障がいのあるに関わらず、スポーツを通して社会参加を応援しようと1968年に米国のシカゴで始まった「スペシャルオリンピックス」。その50周年を記念したサッカーの国際大会「2018年スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールカップ」が7月17日からシカゴで開催されます。

ユニファイドスポーツとは、知的障がいのある人(アスリート)となない人(パートナー)が交流し、共に理解し合いながら同じチームで競技を行うもので、今大会には世界20カ国から24チームが参加。その日本代表に選ばれたのが本校の行政マネジメント学科に通う大内翔太さんが所属する「スペシャルオリンピックス日本・福島」(郡山市)のユニファイドサッカーチームです。

夢はユニファイドサッカーで得た経験を生かし、どんな人にも気遣いのできる消防士

アスリート9人、パートナー7人で今大会に挑む日本代表チーム。その中で大内さんはパートナーの入団試験を見事突破し、ゴールキーパーという大役を射止めました。「以前から福祉や介護には興味があったので、入団試験の誘いを受けたときはぜひ!と思いました。高校のサッカー部ではあと一歩で全国大会を逃したのに、いきなり世界大会ですからね。プレッシャーはあります。でも、このチームを日本代表に導いてくれた先輩たちに恥じぬよう、優勝を目指して頑張ります」と大内さん。将来の夢は「ここでの経験を生かし、どんな人にも気遣いのできる消防士」ときっぱり。今大会が終わったら、9月の消防士採用試験に向けてラストスパートです。がんばれ!大内さん。

